



院長コラム



今年の夏の全国高校野球選手権大会で初めてクーリングタイムが導入されました。選手の熱中症対策のため、5回終了後に10分間、ベンチ裏に移動し、クーラーや送風機が置かれたスペースで休憩をとるというものです。当初、気温差が悪影響を及ぼしたのか、6回以降に足がつる選手が続出したこともあって、この対策に賛否両論が噴出しました。個人的には全国大会で選手の健康面に配慮して、熱中症対策に分かりやすい取り組みをしたことは充分評価できると思い



ます。こちらは、観客への対応ですが、阪神電鉄は暑さ対策として、2025年に甲子園球場の銀傘をアルプス席まで拡げる工事に着工することを発表しています。大阪時代、週末に同大会の準々決勝を見に行ったことがあります。炎天下の甲子園球場は確かに暑かった。週明けに出勤した際、日焼けした私の顔を見た同僚から一言、「ハワイにでも行ってきたの？」と。

院長 茶堂 宏



スギ花粉は「国民病」



今年の県内のスギ花粉の飛散量は平年値の2.1倍、ヒノキ花粉も同2.8倍でした。いずれも過去最多で、昨夏の気温が高かったことが原因と考えられます。

日本での花粉症は、スギ花粉症が最多です。疫学調査によると、その有病率は1998年に16.2%でしたが、2019年には38.8%と急増しています。スギ花粉症が「国民病」と言われる所以です。その対策について、この5月に政府がその取り組みについて、全体像をまとめました。

スギ花粉症の発生源になるスギ人工林の伐採や花粉の少ない品種への植え替えを進め、30年後には花粉の発生を現在の半分に減らすことを目標に掲げました。ただ、対策の柱である伐採を増やすには、課題が多いようです。林業従事者の確保が必要ですが、30年間で半減しています。また、生産性の高い機器への切り替えが必要ですが、お金がかかります。スーパーコンピューターやAI（人工知能）を用いた花粉の飛散予測の精度向上や、医

療の整備も進めることも目標に掲げています。「舌下免疫療法」の治療薬（シダキュア）を、5年以内に現在の4倍の100万人分に供給することが含まれています。

人や財源の問題も絡み、スギ花粉の飛散を減らす対策は一筋縄ではうまくいきそうにはありません。花粉の回避や、舌下免疫療法*の普及の方が現実的な対策のようです。

*舌下免疫療法とは、錠剤を1日1回、舌下に1分間含み、体をスギ花粉に慣らしていく治療です。こちらに関しては、院内報第二号で以前紹介させていただきました。

院長 茶堂 宏





風しん第5期定期接種（無料）について



院内報第三号でもご案内した風しんについて、本号でも取り上げました。風しんは抗体(免疫)を持っていれば、感染を防ぐことができます。家族や周囲の人に感染を拡げないためにも風しんの予防接種の接種歴がない場合は抗体検査を受け、免疫が十分に無かった場合は予防接種を受けることが大切です。風しん第5期定期接種対象の44歳～61歳の男性は、2025年3月31日まで抗体検査・予防接種を原則無料で受けることができます。

(古谷)



おすすめの本の紹介



「いつつごうさぎの
きっさてん」

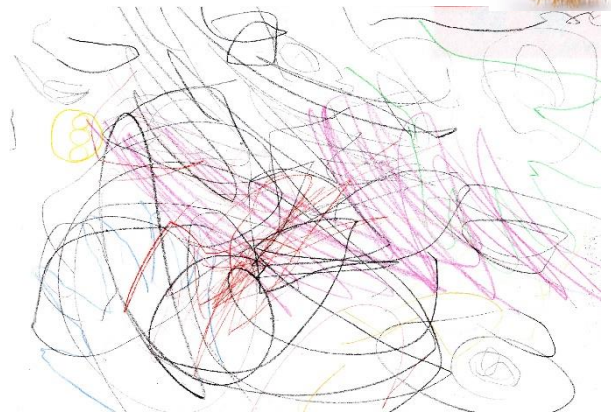
作・絵:まつお りかこ
出版社:岩崎書店

いつつごうさぎは、トラックに乗って旅をしながら、いろんな場所で喫茶店を開いているようです。あるとき、「いちごまつり」に行き、たくさんのイチゴを摘んだいつつごうさぎは、イチゴを使ったレシピを色々と考えます。

「どんなものでもおてのもの。いつつごうさぎにおまかせあれ」という決めゼリフもかわいいです。

(城山)

みんなのアート作品



えにし君・3歳

アンパンマンと仮面ライダー
伸び伸び書けたね♪



新しいスタッフ紹介



看護師の小田です

趣味：読書

主に小説を読んでいます。最近読んだ小説は、映画にもなった『わたしの幸せな結婚』です。和風ファンタジー×嫁入りのお話ですが、楽しく読める内容なので、時間があれば、1冊を1日で読み終える事もあります。早く仕事に慣れるように頑張りますので、よろしくお願いします。



動物園に行きました



ときわ動物園に行きました。
ミーアキャットが何かを見つめる姿が可愛くて写真を撮ってみました！

(活田)

スタッフより一言

今回の院内報は、秋らしい背景にしてみました。まだまだ暑い日が続きますが、体調管理に気を付けて乗り切ってください！

(城山・活田・古谷)

